取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 **CF-H1** シリーズ

もくじ

ページ

安全上のご注意 ……………………………… 2

お使いになる前に

本書について …………………………………… 6
各部の名称と働き …………………………… 7
準備 ……………………………………………… 9
はじめて使うとき …………………………… 10

上手にお使いいただくために

画面で見るマニュアル ……………………… 14
取り扱いとお手入れ ………………………… 15

困ったときは

困ったときの Q&A …………………………… 18
再インストールする ………………………… 23

ソフトウェア使用許諾書 …………… 25
仕様 ……………………………………… 26
保証とアフターサービス …………… 30

詳しい操作方法については、「画面で見るマニュアル」をお読みください。
画面で見るマニュアルについては14 ページの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

安全上のご注意

お使いになる前に

上手にお使いいただくために

困ったときは

必要なときに

保証書別添付

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
・**ご使用前に「安全上のご注意」（2 ～ 5 ページ）を必ずお読みください。**
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
・製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を区分して説明しています。

区分	内容
危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

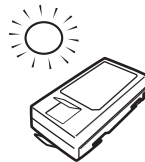
■ お守りいただく内容を次の記号で説明しています。

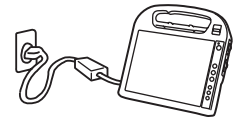
記号	内容
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

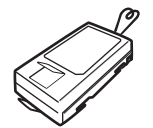
バッテリーパックに関する注意　危険

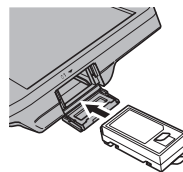
火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

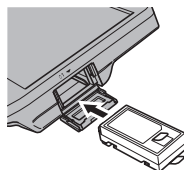
指定の方法で充電する

指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

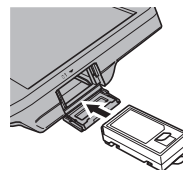
プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。
- ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- 強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-H1 シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-H1 シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用をやめる

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

・破損した
・内部に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。

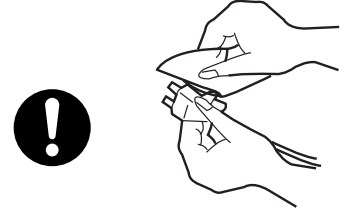
電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

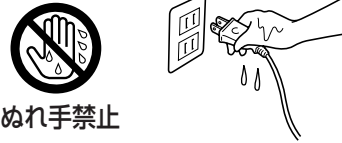
電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

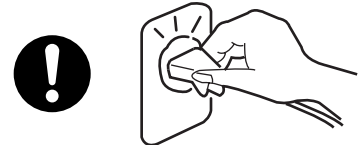
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

分解や改造をしない

分解禁止

⚠警告
●高電圧に注意
本機を分解・改造しない

［本体に表示した事項］

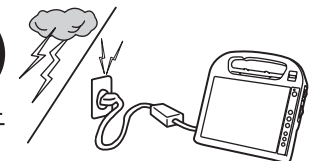
高圧部による感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる

内部に異物が入ると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外し、販売店にご相談ください。

雷が鳴りはじめたら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど[*1]の原因になります。

[*1] 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠ 警告

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

医療機器に近づけない

手術室、集中治療室、CCU[*2]などには持ち込まないでください。本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

[*2] CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠注意

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1 時間ごとに 10 〜 15 分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

高温の場所に長時間放置しない

禁止

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

必ず指定の AC アダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

AC アダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わった AC アダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- AC アダプターの修理は、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本書について

本書では名称等を以下のように表記します。

- 「Windows® 7 Professional 32 ビット」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。
- 「Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 Service Pack3」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。

■ 表記

➔ : 本書内や、パソコン本体に保存されている『操作マニュアル』などの参照先を意味します。

: 画面で見るマニュアルを意味します。

お願い : 安全にお使いいただくための情報を記載しています。

お知らせ : お使いいただくうえで便利な情報を記載しています。

クリック : デジタイザーペンで画面に触れることを意味します。

右クリック : Windows 7
デジタイザーペンで対象に触れ続けて、周りに円が描かれたら離してください。または、デジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる方法でも「右クリック」できます。
Windows XP
デジタイザーペンで対象に触れ続けて、マウスマークが表示されたら離してください。または、デジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる方法でも「右クリック」できます。

Windows 7

（スタート）- [すべてのプログラム] :
画面上の （スタート）をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすることを意味します。
ダブルクリックが必要な場合もあります。

Windows XP

[スタート] - [すべてのプログラム] :
画面上の [スタート] をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすることを意味します。
ダブルクリックが必要な場合もあります。

< クレードルに外部キーボードを接続している場合 >

↵ : [↵]（Enter）キーを押すことを意味します。

Ctrl + F7 : [Ctrl] キーを押しながら [F7] キーを押すことを意味します。

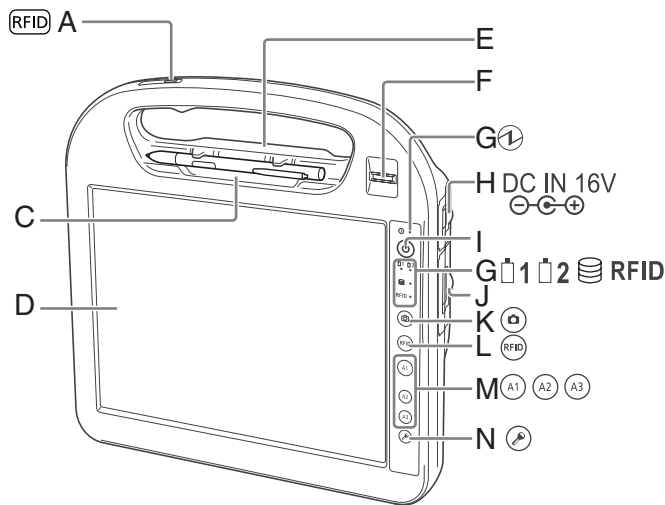
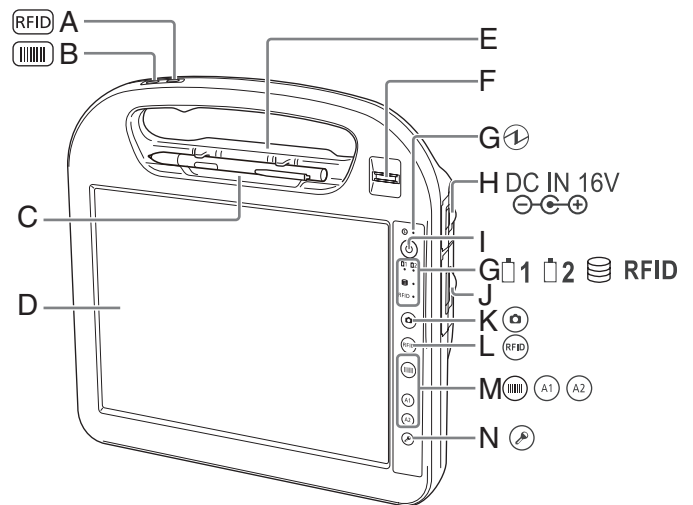
- 接続するキーボードによって、キーの表示が一部異なる場合があります。

< フラッシュメモリーモデルの場合＞
本書内の「ハードディスク」を「フラッシュメモリー」と読み替えます。

- Windows 7 は Windows® 7 Professional Operating System を指します。
- Windows XP は Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Operating System を指します。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと使えない機能や表示できない画面があります。
- 本書では、工場出荷時の設定状態での操作を説明しています。
- 別売品の最新情報については、カタログなどをご覧ください。
- 本書の内容に関しましては、事前の予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

■ 商標

Microsoft とそのロゴ、Windows®、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel、Atom、Core、Centrino は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

各部の名称と働き

< ヘルスケア、バーコードリーダー非内蔵モデル >

< ヘルスケア、バーコードリーダー内蔵モデル >

A: RFID リーダーボタン
<RFID リーダー内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」「セットアップユーティリティ」

B: バーコードリーダーボタン
< バーコードリーダー内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「バーコードリーダー」「セットアップユーティリティ」

C: ペンホルダー
D: LCD
➔ 『操作マニュアル』「デュアルタッチ」

E: IC カードスロット
< IC カードスロット内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「IC カードスロット」

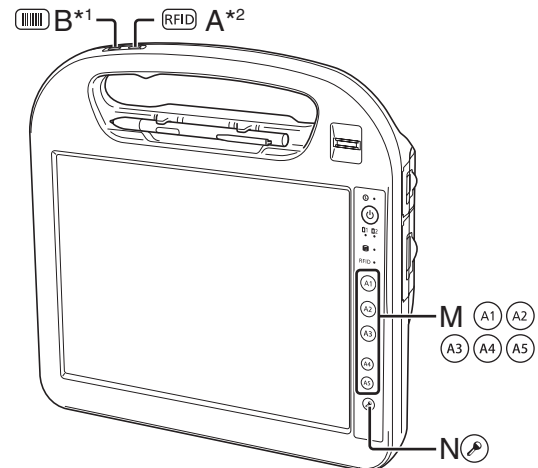
F: 指紋センサー
< 指紋センサー内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「指紋センサー」

G: 状態表示ランプ
⏻ : 電源状態表示ランプ
- 消灯：電源オフまたは休止状態
- 緑点灯：電源オン
- 緑点滅：
  - Windows 7 ：スリープ
  - Windows XP ：スタンバイ

1 :バッテリー 1 状態表示ランプ
➔ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」

2 :バッテリー 2 状態表示ランプ
➔ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」

: ハードディスク状態表示ランプ
RFID :
RFID リーダーの状態
➔ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」

H: 電源端子
I: 電源スイッチ
J: バッテリー 2 ケース

*1 バーコードリーダー内蔵モデル
*2 RFID リーダー内蔵モデル

< フィールドモデル >

K: カメラボタン
➔ 『操作マニュアル』「カメラ」

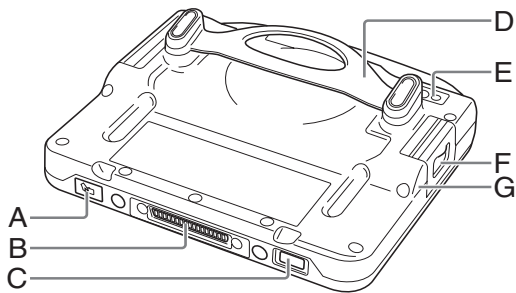
L: RFID リーダーボタン
➔ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」

M: < バーコードリーダー非内蔵モデル >
アプリケーションボタン A1 A2 A3
< バーコードリーダー内蔵モデル >
バーコードリーダーボタン
アプリケーションボタン A1 A2
< フィールドモデル >
アプリケーションボタン A1 A2 A3 A4 A5
< バーコードリーダー内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「ハードウェアボタン」、「バーコードリーダー」

N: セキュリティボタン
➔ 『操作マニュアル』「ハードウェアボタン」

各部の名称と働き

底側

内側

A: RFID リーダー
<RFID リーダー内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」

B: 拡張バスコネクター

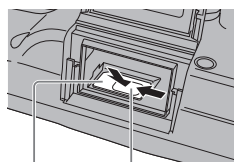
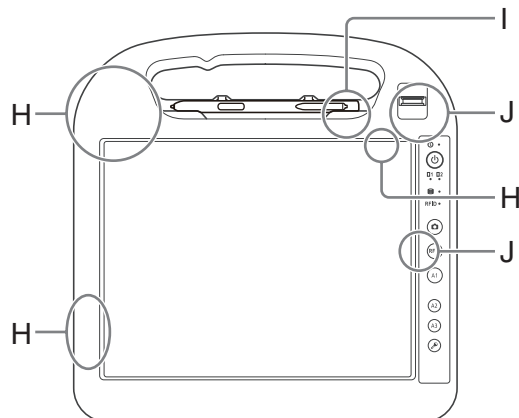
C: バーコードリーダー
< バーコードリーダー内蔵モデルのみ >

D: ハンドストラップ

E: カメラ
< カメラ内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「カメラ」

F: バッテリー 1 ケース

G: SIM カードスロット
< ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ >
バッテリー 1 ケースの中にあります。
バッテリーパックを取り外して、以下のように SIM カードを取り付けます。

- 図のように、SIM カードは接触面を上向きにしてカードスロットに挿し込む。

> カードの向きに注意してください。向きを間違えたり無理な力を加えたりすると、カードがこわれることがあります。

H: ワイヤレス WAN アンテナ
< ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ >
モデルにより、内蔵していない個所があります。

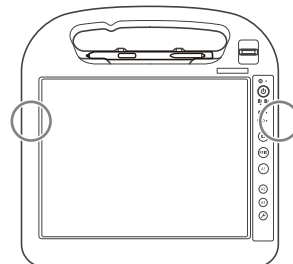
I: Bluetooth アンテナ
< Bluetooth 内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「Bluetooth 機能」

J: 無線 LAN アンテナ
< 無線 LAN 内蔵モデルのみ >
➔ 『操作マニュアル』「無線 LAN 機能」

お知らせ

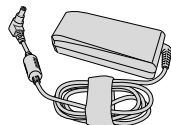
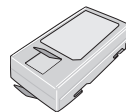
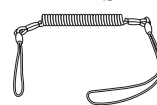
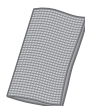
- 本機には、バッテリーカバー（右図の○で囲んだ部分）に磁石および磁気を帯びた部品が使用されています。これらの部分に、金属や磁気メディア、磁気カードを接触させないようにしてください。

< ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ >

- IMEI（International Mobile Equipment Identity の略）がバッテリー 1 ケースのラベルに表示されています。

準備

■ 準備

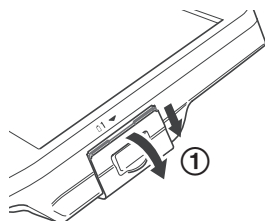
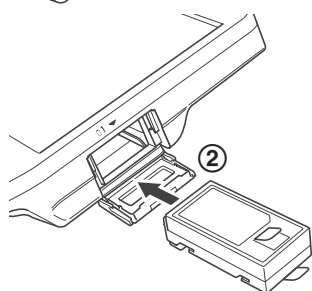
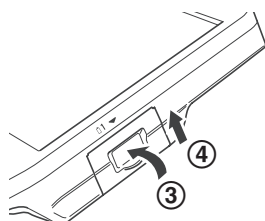
① 付属品を確認する。
万一足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください（➔ 30 ページ）。

• AC アダプター [*1] . . . .1　• 電源コード [*2] . . . . . . .1　• バッテリーパック . . .2　• デジタイザーペン用ケーブル . . . 1

品番 CF-AA6372A

品番 CF-VZSU53JS

• 専用布 . . . . .1　• デジタイザーペン . . .1

（➔ 『操作マニュアル』「デュアルタッチ」）

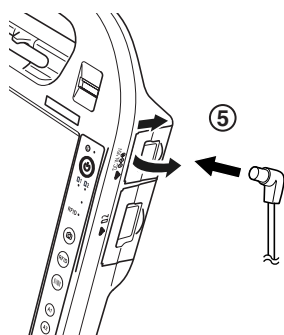
• 取扱説明書（本書）[*3] 1
• プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional 1
• プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® XP Tablet PC Edition SP3 1
• 保証書 1

[*1] 別売品として、CF-AA6372A または CF-AA1632A をお買い求めください。
[*2] 付属の電源コードは、CF-AA6372A および CF-AA1632A 以外の製品等に転用しないでください。 28-J-1
[*3] 本書以外に説明書が付属されている場合は、その説明書も必ずお読みください。以下の手順を行う際に追加の操作が必要になる場合があります。

② パソコン本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認する（➔ 25 ページ）。

■ バッテリーパックを取り付ける
本機では 2 個のバッテリーパックを使用します。

① バッテリーカバーをスライドして開ける。

② 左図の向きに、バッテリーパックを奥までしっかりと挿入する。

③ バッテリーカバーを閉じる。
④ カチッと音がするまでカバーをスライドする。

お願い

- バッテリーカバーがロックされていないとパソコンは動作しません。カバーがきちんとロックされていることを確認してください。
- ラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態でパソコンを持ち運ぶと、バッテリーパックが落ちるおそれがあります。
- バッテリーパックとパソコンのコネクター部には触れないでください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなり、バッテリーやパソコンが正しく動作しないことがあります。

⑤ 電源端子のカバーを開け、AC アダプターを接続する。
自動的にバッテリーの充電が始まります。
パソコンをクレードル（別売り）に取り付けて充電することもできます（➔ 10 ページ）。

お使いになる前に

はじめて使うとき

本機のバッテリーについて
本機では、2 個のバッテリーパックを使用します。
どちらか一方の充電（➔ 下記）または放電が終わると、自動的に反対側に切り替わります。
- パソコンをクレードル（別売り：CF-VEBH11U、CF-VEBH11AU）に接続しているときは、クレードルに電源コードを接続することで充電を行えます。
- バッテリーチャージャー（別売り：CF-VCBU11U）またはクレードル（別売り：CF-VEBH11U、CF-VEBH11AU）をお持ちの場合は、どちらかのバッテリーパックを使用している間に、もう一方のバッテリーパックを取り外すことができます。
- バッテリーパックの取り付け／取り外しは電源が入った状態でも行えますが、使用中のバッテリーパックを間違って取り出さないでください。（➔ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」）
- バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯したときは、早めに充電してください。

お知らせ
- パソコンがオフのときでも、電力を消費します。満充電のバッテリーの残量がなくなるまでの期間は次のとおりです。
  - 電源オフの場合：約 2 週間
  - スリープ [*1] の場合：約 2 日間
  - 休止状態の場合：約 3 日間

[*1] Windows XP ：スタンバイ

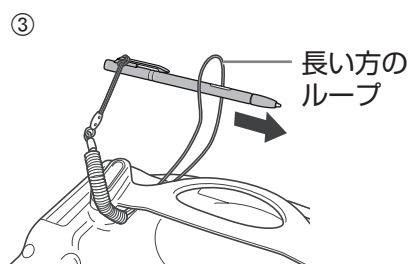
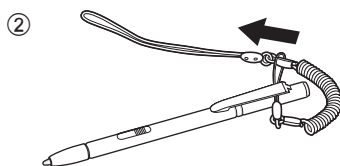
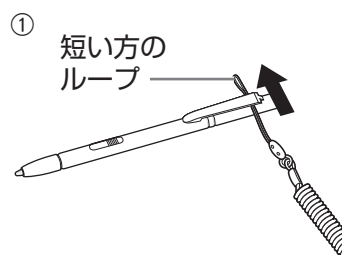
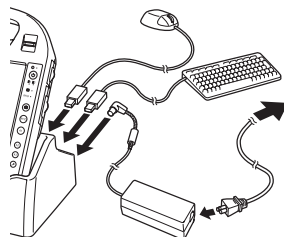
■ デジタイザーペンの使い方

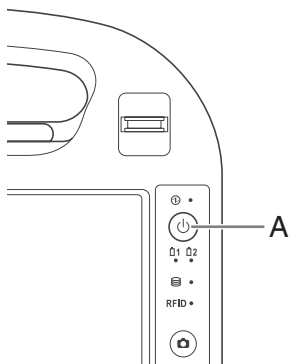
画面タッチ機能を使うとマウスを使用する感覚で、画面に触れて Windows を操作することができます。付属のデジタイザーペンで画面の表面に触れてください。

右クリックのしかた

Windows 7
デジタイザーペンで右クリックの対象に触れ続け、周りに円が描かれたら離す。またはデジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる。

Windows XP
デジタイザーペンで右クリックの対象に触れ続け、マウスマークが表示されたら離す。またはデジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる。

デジタイザーペンの取り付け方

①
②
③
■ パソコンの設定

1 パソコンをクレードル（別売り）に取り付ける。
- パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードと外部マウスをクレードルに取り付けてください。
- AC アダプターをクレードルおよびコンセントに接続してください。
  自動的にバッテリーの充電が始まります。

お願い
- 「パソコンの設定」が完了するまで、パソコンをクレードルから取り外さないでください。
- 初めて使うときは、バッテリーパック、クレードル、外部キーボード、外部マウスおよび AC アダプター以外の機器を接続しないでください。

2 パソコンの電源を入れる。

①電源スイッチ（A）を押す。
電源状態表示ランプ が点灯したら手を離します。

お願い

- 電源スイッチを連続して繰り返し押さないでください。
- 電源スイッチを 4 秒以上押すと、パソコンが強制終了します。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまでは、10 秒以上お待ちください。
- ハードディスク状態表示ランプ が消灯するまで、次の操作は行わないでください。
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - 電源スイッチを押す
  - 画面、外部キーボードおよび外部マウスに触れる
- CPU の温度が高いときは、過熱を防ぐためパソコンが起動しないことがあります。温度が下がるまで待ってから電源を入れてください。温度が下がっても起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください (➔ 30 ページ)。
- 「パソコンの設定」作業が完了するまで、セットアップユーティリティの工場出荷時の設定は変えないでください。

3 Windows をセットアップする。

①画面の指示に従って操作を行う。
- 「パソコンの設定」が完了するまでデュアルタッチによる操作はできません。外部キーボードか外部マウスを使ってください。

Windows 7
- 電源を入れた後、Windows のセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、カーソルだけが表示された状態がしばらく続いたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。
- Windows のセットアップは約 20 分かかります。画面のメッセージを確認してから、次の手順に進んでください。

お願い

- ユーザー名とパスワードに CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9 は使用できません。
- ユーザー名とパスワードに @ を使用しないでください。

  Windows 7
  パスワードを設定していなくても、Windows にログオンしようとするとパスワードを入力するように求められます。ここでパスワードを入力せずにログオンしようとすると、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンはできません（➔ 18 ページ）。
- ユーザー名、パスワード、背景（壁紙）、無線ネットワーク（**Windows 7**）セキュリティ設定（**Windows XP**）は、Windows のセットアップ後に変更できます。
- パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れると、Windows にログオンできなくなります。あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをお勧めします。

Windows XP
- 日付／時間／タイムゾーンを設定し、[次へ] をクリックした後、次の手順の画面が表示されるまで数分間かかることがあります。画面が切り替わるまで、画面、外部キーボードおよび外部マウスには触れないでください。
- 「予期しないエラーが発生しました」（または同様のメッセージ）が表示されたら、[OK] をクリックしてください。故障ではありません。
- ハードディスク状態表示ランプ が消灯するまでお待ちください。

4　タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行する。

タッチパネルの補正には、デジタイザーペンを使わないでください。指を使ってください。

お願い

- MS-IME の言語バーを“＋”と重ならない場所（画面中央など）に移動しておいてください。デジタイザーの補正を行う場合も、同様に移動しておいてください。

① Windows 7

[タッチ設定] を起動する。（スタート）- [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タッチ設定] をクリックする。

Windows XP

[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Tablet PC 設定] をクリックする。

② [調整開始] をクリックする。

③ 画面上に順番に“＋”が表示されるので、指で順に 1 つずつ触れた後、[終了] をクリックする。

④ パソコンを再起動する。

お知らせ

- 必要な場合は、デジタイザーの補正を行うことができます。（➔ 『操作マニュアル』「デュアルタッチ」）

Windows XP

5　新しいユーザーアカウントを作成する。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] - [新しいアカウントを作成する] をクリックする。

お願い

- パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れると、Windows にログオンできなくなります。あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをお勧めします。

お知らせ

- **PC 情報ビューアー**
  本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1 回あたり最大 2048 バイトです。これらの情報は、万が一ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。（➔ 『操作マニュアル』「困ったときは（詳細編）」の「パソコンの使用状態を確認する」）

■ 起動／シャットダウンするとき

- 次の操作は行わないでください。
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - 電源スイッチを押す
  - 画面、外部キーボードおよび外部マウスに触れる

■ Windows にログオンするときの注意

- ゲストアカウントでログオンしないでください。

Windows 7

■ スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーを設定するときは、以下のように操作して、Windows 標準のスクリーンセーバーを選んでください。ただし、[3D テキスト] や [ブランク] は選ばないでください。

① デスクトップを右クリックし、[個人設定] をクリックする。

② [スクリーンセーバー] をクリックする。

③ [3D テキスト]、[ブランク] 以外のスクリーンセーバーを選び、[OK] をクリックする。
[3D テキスト] や [ブランク] に設定すると、Windows 7 固有の性能のため、スクリーンセーバーが動作しているときにはスリープや休止に移行しないことがあります。また、電源スイッチなどを操作しても、スリープや休止からリジュームしない場合もあります。このようなときは、電源スイッチを 4 秒以上押し続けてパソコンを強制終了する必要がありますが、保存していないデータは失われます。

■ パーティションを変更する

1 つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、1 つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。工場出荷時、本機のパーティションは 1 つです。

① （スタート）をクリックし、[コンピュータ] を右クリックして、[管理] をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

② [ディスクの管理] をクリックする。

③ Windows が使用しているパーティション（工場出荷時は C ドライブ）を右クリックし、[ボリュームの縮小] をクリックする。
- パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。
- 画面に表示されているサイズよりも大きなサイズは指定できません。また、30000 MB 以下に縮小すると、そのドライブに Windows を再インストールすることができなくなります。

④ [縮小する領域のサイズ] を入力し、[縮小] をクリックする。
- 画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。

⑤ [未割り当て] 領域を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム] をクリックする。
- [未割り当て] 領域は手順④で圧縮した領域です。

⑥ 画面の指示に従って操作を行い、[完了] をクリックする。
- 画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

お知らせ

- [未割り当て] 領域が残っている場合は手順⑤から、Windows の領域にまだ余裕がある場合は手順③からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。
- パーティションを削除するには、手順③の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除] をクリックしてください。

Windows XP

■ ハードディスクのバックアップと復元

- ハードディスク全体のバックアップを作成したりバックアップしたデータを復元したりするには、市販のソフトウェアをご利用ください。

画面で見るマニュアル

パソコンの画面上で、『操作マニュアル』および『バッテリー等の上手な使い方』を見ることができます。
『操作マニュアル』および『バッテリー等の上手な使い方』を初めて起動したときは、Adobe Reader の「使用許諾契約書」画面が表示されます。内容をよく読み、[同意する] をクリックして先に進んでください。

■ 操作マニュアル

『操作マニュアル』は、本機を十分に活用していただくための機能について説明しています。

『操作マニュアル』を見るには

Windows 7

① デスクトップの

をダブルクリックする。

- または、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [操作マニュアル] をクリックする。

Windows XP

① [スタート] - [操作マニュアル] をクリックする。

■ バッテリー等の上手な使い方

『バッテリー等の上手な使い方』では、バッテリーの使い方について役立つ情報を記載しています。より長時間／長寿命でバッテリーパックをお使いいただく方法なども説明しています。

『バッテリー等の上手な使い方』を見るには

Windows 7

① デスクトップの バッテリー等の上手な使い方 をダブルクリックする。

- または、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル]（または [バッテリー]）- [バッテリー等の上手な使い方] をクリックする。

Windows XP

① デスクトップの バッテリー等の上手な使い方 をダブルクリックする。

- または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル]（または [バッテリー]）- [バッテリー等の上手な使い方] をクリックする。

お知らせ

- Adobe Reader のアップデートを促すメッセージが表示された場合は、画面に従ってアップデートしてください。
  Adobe Reader の最新版については次の Web ページをご覧ください。
  http://www.adobe.com/jp/

取り扱いとお手入れ

操作環境について

- パソコンは平らで落下のおそれのないところに置いてください。また、クレードル以外に立てて置かないでください。倒れて本体に強い衝撃が加わると、誤動作や故障の原因になります。
- 適切な温度範囲： 操作時： 5 ℃ ～ 35 ℃
  保管時： –20 ℃ ～ 60 ℃
  適切な湿度範囲： 操作時： 30% RH ～ 80% RH（結露なきこと）
  保管時： 30% RH ～ 90% RH（結露なきこと）
  上記の温度 ／ 湿度の範囲であっても、極端な環境で長時間ご使用になると、パソコンの劣化につながり、製品寿命が短くなる可能性があります。
- パソコンが損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。
  - 電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
  - 極端に高温または低温のところ。
- 操作中は、パソコンの温度が上昇しますので、熱に弱いものを近くに置かないでください。

取り扱い上のご注意

本機は、ディスプレイやハードディスクへの衝撃が小さく抑えられるよう設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。取り扱いには十分注意してください。

- パソコンを持ち運ぶとき
  - パソコンの電源を切ってください。
  - ハンドル部分を持って運んでください。
  - 落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。
- 航空機には手荷物として持ち込んでください。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。
- 予備のバッテリーパックを持ち運ぶときは、コネクター保護のためビニール袋などに入れてください。
- ハンドストラップの破損によるパソコンの落下に注意してください。
- 画面の上に物を置いたり、跡が付くような先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で強く押したりしないでください。
- 画面にほこりや油などの汚れが付着したときは、デジタイザーペンを使わないでください。画面やデジタイザーペンに異物が付着していると、画面に傷を付けたり、デジタイザーペンの操作ができなくなったりすることがあります。
- デジタイザーペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、デジタイザーペンが損傷したり、画面に傷を付けたりすることがあります。

お手入れ

< ヘルスケアモデル >
ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。必要に応じて消毒用アルコールを使ってお手入れをしてください。
< フィールドモデル >
消毒用アルコールは使わないでください。

ディスプレイのお手入れ
付属の専用布をお使いください。（詳しくは専用布に付属の『LCD 画面清掃についてのお願い』をご覧ください。）

ディスプレイ以外のお手入れ
ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。
洗剤を使うときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、かたく絞ってください。

お願い

- ベンジンやシンナー、強アルカリ性の洗剤などは使わないでください。本体表面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、本体表面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液体がパソコンの内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

< ヘルスケアモデル >

- 本製品の背面ラベル部の表面には、アルコールでのお手入れによって印刷文字が消えないように、特殊なカバーフィルムを貼り付けています。このカバーフィルムには、上記アルコールへの耐久性を高めるために特殊な接着剤を使用しており、部分的に白くなったり、気泡が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。

- 工場出荷時の設定については ➔ 『操作マニュアル』「消費電力を節約する」

無線 LAN ご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LAN のセキュリティに関する設定は行われていません。
無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。(➔ 『操作マニュアル』「無線 LAN 機能」、お使いの無線 LAN アクセスポイントの説明書)
無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線 LAN アクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
  - ID やパスワード
  - クレジットカード番号等の個人情報
  - メール内容
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線 LAN 機能や無線 LAN アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線 LAN アクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。
無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さまご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。
したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金づちや強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。（➔ 『操作マニュアル』「ハードディスクの内容をすべて消去する」）

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

困ったときの Q&A

トラブルが発生した場合は、下記の方法をお試しください。『操作マニュアル』でもさらに詳しい内容を紹介しています。ソフトウェアに関する問題については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。それでも解決しない場合は、ご相談窓口にご相談ください（➔ 30 ページ）。PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。（➔ 『操作マニュアル』「困ったときは（詳細編）」の「パソコンの使用状態を確認する」）

- パソコンを外部キーボードでお使いの場合は、パソコンをクレードルに取り付けてから AC アダプターをクレードルに接続する必要があります。

■ 電源を入れたとき

起動できない。 電源状態表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない。	● AC アダプターを接続してください。 ● 満充電されたバッテリーパックを取り付けてください。 ● バッテリーパックと AC アダプターをいったん取り外し、取り付け直してください。 ● USB 機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「USB ポート」または「レガシー USB」を「無効」に設定してください。（➔ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）
パソコンが起動しない。 パソコンがスリープ [*1] からリジュームしない。 （電源状態表示ランプが短い間隔で緑色点滅する。） [*1] Windows XP ：スタンバイ	● パソコンの電源を切り、5℃～ 35℃の温度環境に約 1 時間置き、その後電源を入れてください。
Windows 7 スクリーンセーバーが動作中に、画面が真っ黒になったままスリープにならない。	● 電源スイッチを 4 秒以上押し続けてパソコンを強制終了してください。（保存していないデータは失われます。）パソコンを起動したら、スクリーンセーバーを無効にします。
パスワードを忘れた。	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを忘れたとき： ご相談窓口にご相談ください (➔ 30 ページ)。 ● コンピューターの管理者のパスワードを忘れたとき： • パスワードリセットディスクがある場合は、管理者パスワードをリセットできます。ディスクをセットし、適当なパスワードを入力してパスワード入力エラーの画面を表示させてください。その後、画面の指示に従って、新しいパスワードを設定してください。 • パスワードリセットディスクがない場合は、再インストールし (➔ 23 ページ)、Windows をセットアップして、新しいパスワードを設定してください。
Windows 7 Windows にログオンできない。（「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示される。）	● ユーザー名に @ が含まれています。 • 別のユーザー名があるとき 別のユーザー名でログオンし、@ を含むユーザー名を削除してから、新しいユーザー名を作ってください。 • 別のユーザー名がないとき Windows を再インストールしてください（➔ 23 ページ）。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」または同様のメッセージが表示される。	● USB 機器を接続している場合は、USB 機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシー USB」を「無効」に設定してください。 ● 上記を行っても解決しない場合は、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください（➔ 30 ページ）。

■ 電源を入れたとき

Windows の起動および動作が遅い。	● セットアップユーティリティで **F9** を押して（➔ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）、設定（パスワード設定を除く）を工場出荷時の設定に戻してください。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。（動作速度は、使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、この操作により必ず速くなるわけではありません。） ● コンピューターの総合的な性能により、アプリケーションの起動、動作などが他のパソコンより遅いことがあります。 例 : Windows 起動後、アプリケーションを起動できない。 アプリケーションのインストールが完了しない。 しばらくお待ちいただくと正常に動作しますので、ハードディスク状態表示ランプが消えるまでそのままお待ちください。なお、カーソルが砂時計（、）にならず、矢印（）のままのこともあります。 ● お買い上げ後にインストールした常駐ソフトウェアがある場合は、そのソフトウェアの常駐を解除してください。 **Windows 7** ● 下記の操作で、ポップアップメニューと入力パネルタブを無効にしてください。 ① 入力パネルを開き、[ツール] - [オプション] - [開き方] をクリックする。 ② [タブから入力パネルをスライドさせて表示する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。 **Windows XP** ● 下記の操作で、インデックスサービスを無効にしてください。 [スタート] - [検索] - [設定を変更する] - [インデックスサービスを使わない] をクリックする。
日付と時刻が正しくない。	● 下記の操作で正しい日付と時刻を設定してください。 **Windows 7** （スタート）- [コントロール パネル] - [時計、言語、および地域] - [日付と時刻] をクリックする。 **Windows XP** [スタート] - [コントロール パネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [日付と時刻] をクリックする。 ● 解決しない場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください（➔ 30 ページ）。 ● クレードル経由で LAN に接続している場合は、サーバーの日付と時間を確認してください。 ● 本機では、西暦 2100 年以降は日付と時刻が正しく認識されません。
[バッテリー残量表示補正ユーティリティ] 画面が表示される。	● バッテリー残量表示補正の手順で Windows が終了するときに、補正が中断され、Windows の終了処理が中止されました。Windows を起動するには、パソコンの電源をいったん切り、再度電源を入れてください。

困ったときの Q&A

■ 電源を入れたとき

スリープ [*2] ／休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない。 [*2] Windows XP ：スタンバイ	● リジュームの際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。リジューム時のセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。 Windows 7 ① （スタート）- [コントロール パネル] - [ユーザー アカウントの追加または削除] をクリックして、変更するアカウントをクリックし、パスワードを設定する。 • 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。 ② （スタート）- [コントロール パネル] - [システムとメンテナンス] - [スリープ解除時のパスワードの要求] をクリックし、[パスワードを必要とする] にチェックマークを付ける。 Windows XP ① [スタート] - [コントロール パネル] - [ユーザー アカウント] をクリックして、変更するアカウントをクリックし、パスワードを設定する。 ② [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとセキュリティ] - [電源オプション] - [詳細設定] をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] にチェックマークを付ける。
リジュームできない。	● スクリーンセーバーの表示中に自動的にスリープ [*3] または休止状態に入ると、エラーが起こる場合があります。その場合は、スクリーンセーバーをオフにするか、別のスクリーンセーバーに変更してください。 ● 電源スイッチを 4 秒以上押すと、パソコンが強制終了しリジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスリープ [*3] のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スリープ [*3] 中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スリープ [*3] または休止状態でも電力は消費されます。 [*3] Windows XP ：スタンバイ
その他の起動時のトラブル	● セットアップユーティリティで F9 を押して（➔ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）、設定（パスワード設定を除く）を工場出荷時の設定に戻してください。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。 ● 周辺機器をすべて取り外してください。 ● ディスクのエラーをチェックしてください。 Windows 7 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② （スタート）- [コンピュータ] をクリックし、[ローカルディスク (C:)] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする。 ③ [ツール] - [チェックする] をクリックする。 • 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。 ④ [チェックディスクのオプション] で項目にチェックマークを付け、[開始] をクリックする。 ⑤ [ディスク検査のスケジュール] をクリックし、パソコンを再起動させる。 Windows XP ① [スタート] - [マイコンピュータ] をクリックし、[ローカルディスク（C:）] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする。 ② [ツール] - [チェックする] をクリックする。 ③ [チェックディスクのオプション] で項目にチェックマークを付け、[開始] をクリックする。 ● 下記の方法で、パソコンをセーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。起動時、[Panasonic] 起動画面が消えたとき [*4] に、F8 を押し続け、「詳細ブート　オプション」画面が表示されたら、「セーフ　モード」を選んで ↵ を押してください。 [*4] セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合、「Panasonic」起動画面が消えた後「パスワードを入力してください。」が表示されます。パスワードを入力し、↵ を押してすぐに F8 を押し続けてください。

困ったときは

■ 終了時

Windows を終了できない。	● パソコンをクレードルから取り外してください。 ● 1 ～ 2 分お待ちください。故障ではありません。

■ ディスプレイ

画面に何も表示されない。	● 外部ディスプレイ使用時は、 • ケーブルの接続を確認してください。 • 外部ディスプレイの電源を入れてください。 • 外部ディスプレイの設定を確認してください。 ● 省電力機能によって、ディスプレイの電源が切れています。リジュームするには、選択に使うキーは押さず、Ctrl などのキーを押してください。 ● 省電力機能によって、パソコンがスリープ [*5]・休止状態に入りました。リジュームするには、電源スイッチを押してください。 Windows XP ● スタンバイ・休止状態からリジュームした後に画面が表示されないことがあります。その場合は、電源スイッチを押してスタンバイ状態にし、再度リジュームさせてください。 [*5] Windows XP ：スタンバイ
画面が暗い。	● AC アダプターが接続されていないと画面が暗くなる場合があります。Panasonic Dashboard を使い、輝度を調整してください。ただし、輝度を上げるとバッテリーの消耗が早くなります。 AC アダプターを接続しているときと接続していないときの輝度は、別々に保存されます。
画面が乱れる。	● 解像度や色数を変更すると画像が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。 ● 外部ディスプレイの接続や取り外しを行うと、画像が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。
同時表示または拡張デスクトップモード時に片方の画面が乱れる。	● Windows が完全に起動し終わるまで、同時画面表示を行うことはできません（セットアップユーティリティの間など）。 ● 拡張デスクトップモード時は、内部 LCD と外部ディスプレイを同じ色設定にしてください。 ● それでも問題が解決しない場合は、下記の操作でディスプレイを変更してみてください。 デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ] - [ディスプレイ デバイス] をクリックする。
外部ディスプレイが正しく動作しない。	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、パソコンが省電力モードに入ると正しく動作しなくなることがあります。外部ディスプレイの電源を切ってください。
Windows 7 < GPS 内蔵モデルのみ > カーソルを正しくコントロールできない。	● 以下の手順を行ってください。 ① セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「シリアルポート設定」の「GPS」を「無効」にする。 ② F10 を押して確認画面で「はい」を選び、↵ を押す。 パソコンが再起動します。 ③ 管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。 ④ (スタート) をクリックし、[プログラムとファイルの検索] に「c:¥util¥drivers¥gps¥GPS.reg」と入力して、↵ を押す。 ⑤ [はい] をクリックし、[OK] をクリックする。 パソコンが再起動します。 ⑥ [Panasonic] 起動画面が表示されている間に F2 または Del を押す。 ⑦ セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「シリアルポート設定」の「GPS」を「有効」にする。 ⑧ F10 を押し、確認画面で「はい」を選び ↵ を押す。

■ 画面タッチ操作

カーソルが動かない。	● 外部マウスを使用している場合は、正しく接続し直してください。 ● 外部キーボードを接続している場合は、外部キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 Windows 7 (Windows) を押し、→ を 2 回押し、↑ を押して [再起動] を選び、Enter を押してください。 Windows XP (Windows)、U、R を押して、[再起動] を選択してください。 ● 外部キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」(➔ 下記) をご覧ください。
付属のデジタイザーペンで正しい位置を指定できない。	● 補正 (キャリブレーション) を実行してください (➔ 『操作マニュアル』「デュアルタッチ」)。

■ 操作マニュアル

操作マニュアルが表示されない。	● Adobe Reader をインストールしてください。 ① 管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。 ② Windows 7 (スタート)をクリックし、[プログラムとファイルの検索] に「c:¥util¥reader¥setup.exe」と入力して、Enter を押す。 Windows XP [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥reader¥setup.exe」と入力して、[OK] をクリックする。 画面の指示に従って操作してください。 ③ Adobe Reader を最新バージョンにアップデートする。 パソコンがインターネットに接続されている場合は、Adobe Reader を起動し、[ヘルプ] - [アップデートの有無をチェック] をクリックする。
Adobe Reader の全画面表示を終了することができない。	● 全画面表示に切り替える前に、[編集] - [環境設定] - [フルスクリーンモード] をクリックし、[ナビゲーションバーを表示] のチェックボックスにチェックマークを付けてください。 ● 上記の設定を行わずに全画面表示に切り替えたときは、パソコンをクレードルに取り付け、クレードルにキーボードを接続し、Esc を押してください。

■ その他

応答がない。	● [🔑] を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面 (起動時のパスワード入力画面など) が別のウィンドウで隠れていませんか ? Alt + Tab を押して確認してください。 ● 電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切った後、再度電源スイッチを押して電源を入れてください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合は、下記の操作でそのソフトをアンインストールし、再度インストールしてください。 Windows 7 (スタート) - [コントロール パネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックする。 Windows XP [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。
バッテリー表示ランプが赤色に点灯する。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。バッテリーの残量が少なくなると休止状態に入るように設定されていたとしても、休止状態に入ることができない場合があります。

再インストールする

Windows を再インストールすると､パソコンは工場出荷時の状態に戻ります。重要なデータは､再インストール前に､他のメディアまたは外部ハードディスクにバックアップを取っておいてください。

準備

- 次のものを準備してください。
  - 再インストールする OS 用のプロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - CD/DVD ドライブ（別売り）（使用できる CD/DVD ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
  - パソコンをクレードル（別売り：CF-VEBH11U、CF-VEBH11AU）に取り付けて、外部キーボードと外部マウスをクレードルに接続してください。
- すべての外部機器（CD/DVD ドライブと外部キーボード、マウス以外）を取り外してください。
- クレードルの電源端子に AC アダプターを接続し、操作が完了するまで取り外さないでください。
- 以下の操作には、外部キーボードと外部マウスを使ってください。

1 パソコンの電源を切り、CD/DVD ドライブをクレードルの USB ポートに接続する。

2 パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を数回押す。
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 F9 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。

4 「起動メニュー」の「起動オプション #1」上で ↵ を押して「USB CD/DVD ドライブ」を選び、↵ を押す。

5 プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。

6 F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
- パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、↵ を押してください。

Windows 7

7 [Windows を再インストールする。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
「使用許諾契約書」の画面が表示されます。

8 [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。

9 再インストールの方法を選ぶ。
再インストールには、次の 2 つの方法があります。
- **工場出荷時の設定にする場合**（リカバリー領域以外のパーティションは 1 つ）
  [1] [ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
- **パーティション構成を変更せず、OS のパーティションに Windows を再インストールする場合**
  [2] [OS 用パーティションに Windows を再インストールする。]*1 をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
  *1 ハードディスクがいくつかのパーティションに分割されている場合は、こちらを選びます。新しいパーティションの作り方については､「パーティションを変更する」（➔ 13 ページ）をご覧ください。

Windows XP から Windows 7 を再インストールする場合：
[はい] をクリックする。

10 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。
再インストールが始まります（約 30 分かかります）。
- パソコンの電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押したりして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

11 終了のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックして電源を切る。

12　パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を数回押す。
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

13　F9 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
パスワードを除くセットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

14　F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

15　「はじめて使うとき」の手順 3 ～ 4（➔ 11 ページ）を実行する。

16　セットアップユーティリティを起動し、必要に応じて設定を変更する。

17　インターネットに接続できる場合は、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows Update] をクリックし、Windows Update を行う。

Windows XP

7　1 を押して、「1. [リカバリー]」を実行する。
「使用許諾契約書」の画面が表示されます。
- 中止する場合は 0（ゼロ）を押してください。

8　1 を押して、「1. はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。」を選ぶ。

9　設定を選択する。
- [2]: OS 用パーティションのサイズを入力し、↵ を押す。
  （データ用パーティションのサイズは、最大値から OS 用パーティションのサイズを引いて決定されます。）
  [3]: 最初のパーティションに Windows がインストールされます。
  （最初のパーティションのサイズは、20 GB 以上必要です。サイズが小さいと再インストールできません。）

確認メッセージで Y を押してください。
再インストールが自動的に始まります（約 30 ～ 75 分かかります）。

Windows 7 から Windows XP を再インストールする場合：
選択できません。
- パソコンの電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押したりして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールできなくなったりするおそれがあります。

10　プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、いずれかのキーを押してパソコンの電源を切る。
- パソコンにメッセージが出てきた場合は、必要に応じてそのメッセージに従ってください。

11　パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を数回押す。
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

12　F9 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
パスワードを除くセットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

13　F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

14　「はじめて使うとき」の手順 3 ～ 5（➔ 11 ページ）を実行する。

15　セットアップユーティリティを起動し、必要に応じて設定を変更する。

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条　権利
お客さまは、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます。インテル製ソフトウェアを含みます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客さまに移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用
お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第 4 条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第 5 条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス
お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第 7 条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。

第 8 条　合意管轄
本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第 9 条　準拠法
本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。

第 10 条　輸出管理
お客さまが、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様です。

■ 本体仕様

品番	CF-H1CDJBGGJ ／ CF-H1CDJBGDJ ／ CF-H1CDJAZGJ ／ CF-H1CDJAZDJ	CF-H1CSLSZGJ ／ CF-H1CSLSZDJ
CPU ／ 2 次キャッシュメモリー	インテル® Atom™ プロセッサー Z540、オンダイ L2 キャッシュ 512 KB[*1]、動作周波数 1.86 GHz、フロントサイド・バス 533 MHz	
チップセット	インテル® システム・コントローラ・ハブ	
メインメモリー	標準 2 GB[*1] DDR2 SDRAM（最大 2 GB[*1]）	
ビデオメモリー	最大 256 MB[*1][*2]	
ハードディスクドライブ	80 GB[*3] ／フラッシュメモリードライブ 64 GB[*3]	
表示方式	10.4 型 TFT カラー液晶 XGA（1024 × 768 ドット）65536 色／約 1677 万色 [*4]	
無線 LAN[*5]	Intel® WiFi Link 5100（➔ 27 ページ「無線 LAN」）	
Bluetooth™[*6][*7]	（➔ 27 ページ「Bluetooth™」）	
サウンド機能	PCM 音源、インテル® High Definition Audio 準拠、モノラルスピーカー	
指紋センサー [*8]	アレイサイズ：192 × 4pixels、イメージサイズ：192 × 512pixels、イメージ解像度：508dpi	
バーコードリーダー [*9]	（➔ 27 ページ「バーコードリーダー」）	
カメラ [*10]	有効画素数：200 万画素、読み取り画素数：1600 × 1200 画素まで、LED 機能：搭載	
RFID リーダー [*11]	RF 周波数：13.56 MHz、準拠規格 ISO14443 TYPE-A、ISO14443 TYPE-B、ISO15693	
セキュリティチップ	TPM（TCG V1.2 準拠）[*12]	
インターフェース	拡張バスコネクター（19 ピン）× 1	
コンタクト IC カードスロット [*13]	1 スロット	
ポインティングデバイス	タッチパネルとデジタイザー	
ボタン	カメラ [*10]、RFID リーダー [*11]、バーコードリーダー [*9]、アプリケーション × 2 [*11] ／× 3 [*14] ／× 5 [*15]、セキュリティ	
電源	AC アダプターまたはバッテリーパック	
AC アダプター [*16]	入力：AC 100 V 〜 240 V、50 Hz/60 Hz、出力 : 16.0 V DC、3.75 A、電源コードは 100 V 専用	
バッテリーパック	7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 2.9 Ah ／定格容量 2.7 Ah × 2 個	
駆動時間 [*17]	約 8 時間	
充電時間 [*18] 電源オン時	約 5.5 時間	
電源オフ時	約 5.5 時間	
消費電力／エネルギー消費効率 [*19]	最大約 30 W[*20] ／ 2007 年度基準 I 区分 0.00081 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：18W 23-J-1-1	
外形寸法（幅 x 奥行き x 高さ） （ハンドストラップを除く）	264 mm × 34 〜 58 mm × 268 mm	
質量 （ハンドストラップを含む）	約 1.5 kg	
使用環境条件	温度： 5 ˚C 〜 35 ˚C	
	湿度：30% 〜 80% RH（結露なきこと）	
保管環境条件	温度： –20 ˚C 〜 60 ˚C	
	湿度：30% 〜 90% RH（結露なきこと）	

■ ソフトウェア

品番	CF-H1CDJAZDJ	CF-H1CDJAZGJ
OS[*21]	Windows® 7 Professional 正規版	Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Service Pack 3 正規版
導入済みソフトウェア [*21]	Adobe Reader、PC 情報ビューアー、ズームビューアー、無線切り替えユーティリティ、Bluetooth™ Stack for Windows® by TOSHIBA[*6]、バッテリー残量表示補正ユーティリティ、Panasonic 手書き、Infineon TPM Professional Package V3.5[*12*22]、Panasonic Dashboard、アプリケーションボタン設定ユーティリティ、クリーニングユーティリティ、画面切り替えユーティリティ、Protector Suite QL[*8*22]、MCA Platform Driver、PC 情報ポップアップ、Panasonic Camera ユーティリティ [*10*22]、ライトクリックユーティリティ、カメラライトスイッチユーティリティ [*10*22]、ソフトウェアキーボード [*22]	
	ネットセレクター 2、Windows Media Player 11、無線接続無効ユーティリティ [*22]	ネットセレクター、Windows Media Player 10、無線接続無効ユーティリティ [*22]、フォントサイズ拡大ユーティリティ
	セットアップユーティリティ、ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*23]、PC-Diagnostic ユーティリティ	

■ 無線 LAN

データ転送速度 [*24]	IEEE802.11a：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 送信 20 MHz 時：6.5/13/19.5/26/39/52/58.5/65 Mbps 20 MHz、Short GI 有効時：7.2/14.4/21.7/28.9/43.3/57.8/65/72.2 Mbps 40 MHz 時：13.5/27/40.5/54/81/108/121.5/135 Mbps 40 MHz、Short GI 有効時：15/30/45/60/90/120/135/157.5 Mbps 受信 20 MHz 時：6.5/13/19.5/26/39/52/78/104/117/130 Mbps 20 MHz、Short GI 有効時：7.2/14.4/28.9/43.3/57.8/86.7/115.6/130/144.4 Mbps 40 MHz 時：13.5/27/40.5/54/81/108/121.5/135/162/216/243/270 Mbps 40 MHz、Short GI 有効時：15/30/45/60/90/120/135/157.5/180/240/270/300 Mbps
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
伝送方式	OFDM 方式、DS-SS 方式
有効距離 [*25]	IEEE802.11a/n：見通し約 30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約 50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a/n：36/40/44/48 チャンネル（W52） 52/56/60/64 チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n：1 ～ 13 チャンネル ad hoc 通信モード： IEEE802.11b/g：1 ～ 11 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz）、 5 GHz 帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz）/（5.5 GHz ～ 5.7 GHz）[*26]

■ Bluetooth™[*6]

Bluetooth バージョン	2.1 + EDR
出力クラス	クラス 1
伝送方式	FHSS 方式
使用無線チャンネル	1 ～ 79 チャンネル
RF 周波数帯域	2.402 GHz ～ 2.48 GHz

■ バーコードリーダー [*9]

読取方式		CMOS リーディング
光源		発光ダイオード
分解能		1D：0.127 mm 2D：PDF417 0.17 mm
角度	スキュー角	± 60°（前後）
	ピッチ角	± 60°（左右）
外光特性		100,000 lx

*1 1 KB = 1,024 バイト /1 MB = 1,048,576 バイト /1 GB = 1,073,741,824 バイト
*2 パソコンの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズは OS により割り当てられます。
*3 1 GB=1,000,000,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で GB 表示される場合があります。
*4 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約 1677 万色表示を実現しています。
*5 無線 LAN 内蔵モデルのみ
*6 Bluetooth 内蔵モデルのみ
*7 コンティニュア仕様第 1 版準拠（ただし、血圧計、歩数計のみ対応）
*8 指紋センサー内蔵モデルのみ
*9 バーコードリーダー内蔵モデルのみ
*10 カメラ内蔵モデルのみ
*11 RFID リーダー内蔵モデルのみ
*12 < セキュリティチップ内蔵モデルのみ >
TPM について、詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。
Windows 7
（スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索] に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、 を押す。
Windows XP
[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力する。
*13 コンタクト IC カードスロット内蔵モデルのみ
*14 バーコードリーダー非内蔵モデルのみ
*15 フィールドモデルのみ
*16 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。（➔ 3 ページ） 20-J-1
*17 JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間（セットアップにてカメラを無効にした場合）。バッテリー駆動時間は、動作環境／システム設定により変動します。
*18 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。
*19 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
*20 約 0.9 W：バッテリーパック満充電時（または充電中でないとき）で、パソコンの電源がオフのとき。
AC アダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、AC アダプター単体で最大 0.5 W の電力を消費します。
*21 プロダクトリカバリー DVD-ROM に収録されているソフトウェアの一部は、機種によっては導入されない場合があります。
*22 使用するにはインストールが必要です。
*23 プロダクトリカバリー DVD-ROM が必要です。
*24 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*25 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。
*26 IEEE802.11a 準拠の無線 LAN は、無線通信に 5 GHz 帯を使用しています。IEEE802.11a の 5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。
5.47 GHz ～ 5.725 GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

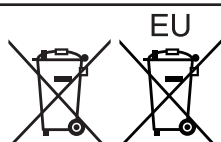
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

2-J-2

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）　3-J-1-1

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器 / 装置 / システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器 / 装置 / システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的で画像を表示できません。
- お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障 / 修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化 / 消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、➔ 15 〜 17 ページの内容に注意してください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

53-J-1

日本国内で無線 LAN ／ Bluetooth をお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4　この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。　25-J-2-1

2.4FH8　この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約 80 m であることを意味します。　25-J-3-1

5 GHz 帯の無線 LAN をお使いになる場合のお願い
5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。　43-J-1

お客さまが 2.4 GHz 帯 11n モードで無線 LAN をお使いの際に、無線 LAN のデバイス･プロパティにて 802.11n チャンネル幅を「自動」（40 MHz 帯域幅も可能）へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を 20 MHz へ戻してください。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、「サポートデスク」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みの後、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 [消耗品（バッテリーパック）を除く]

■ 補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、このパソコンの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。

また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

「困ったときの Q&A」（本書および『操作マニュアル』）に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。
  また、出張修理（オンサイト）サービスもご希望により有料で対応可能です。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  送料 は、お客さまのご依頼により修理品を引き取り、またはお届けする場合の費用です。

  出張料 は、お客さまのご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- **ご連絡いただきたい内容**

製品名	パーソナルコンピューター
品番	保証書に記載されています。 （例：CF-H1CDJAZGJ）
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

必要なときに

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

修理に関するご相談

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル 0120-05-8729

フリーダイヤルを利用できないお客さまは
011-330-1911

ＦＡＸ ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-00-8742

ナビダイヤルを利用できないお客さまは
011-330-1912

受付時間　9 時〜 21 時
年末年始（12/30 〜 1/4）を除く

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

フリーダイヤルを利用できないお客さまは
(06)6905-5067

ＦＡＸ (06)6905-5079

365 日／受付 9 時〜 20 時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2010 年 1 月 1 日現在

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客さまの個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

消耗品・有寿命部品について

パソコンの部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。
パソコンを長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。
当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック 保護フィルム デジタイザーペン デジタイザーペン用ケーブル	・ お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 ・ 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ LCD（液晶ディスプレイ） AC アダプター リチウム電池 ハンドストラップ	・ 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 ・ 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で 8 時間 /1 日、250 日 /1 年の使用で約 5 年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

愛情点検　**長年ご使用のパソコンの点検を！**

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　IT プロダクツビジネスユニット

〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目 10 番 12 号

Printed in Japan

HS0110-10410
DFQW5419ZA